



2020年3月期 決算説明資料

2020年5月21日

安藤ハザマ

決算説明資料の掲載にあたり



この度の新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々およびご家族、ご関係者におかれましては謹んでお悔やみ申し上げます。また、罹患され現在治療中の方々には、心よりお見舞い申し上げます。

当社は、第4四半期決算発表後に機関投資家様、アナリスト様向けの決算説明会を例年開催しておりますが、今回の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、参加者の皆様および当社関係者の健康と安全を第一に考慮した結果、決算説明会の開催を中止し、決算説明資料の掲載で対応させていただくことといたしました。

決算説明会へのご参加をご予定いただいておりました皆様におかれましては、ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

今後もIR活動の充実に努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



目 次

I. 2020年3月期決算の概況	3
II. 2020年3月期決算の詳細	7
III. 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応 および2021年3月期業績予想の未公表について	12



I. 2020年3月期決算の概況

決算の概況



連結売上高 **3,781** 億円

(前期比 + 5.0%)

■ 完成工事高の増加

連結営業利益 **246** 億円

連結営業利益率 **6.5** %

(連結営業利益 前期比 + 4.3%)

(連結営業利益率 前期比 △ 0.0P)

■ 売上高の増加

個別受注高 **3,802** 億円

(前期比 △11.1%)

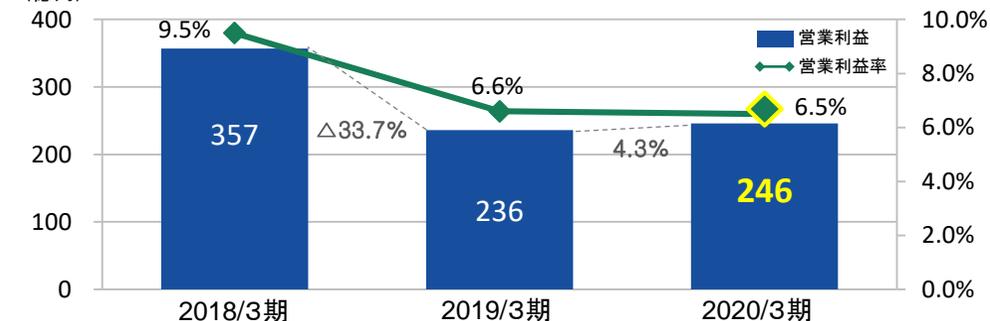
■ 土木事業は、前期に続き大型工事を受注

■ 建築事業は、官公庁と民間工事が前期から減少

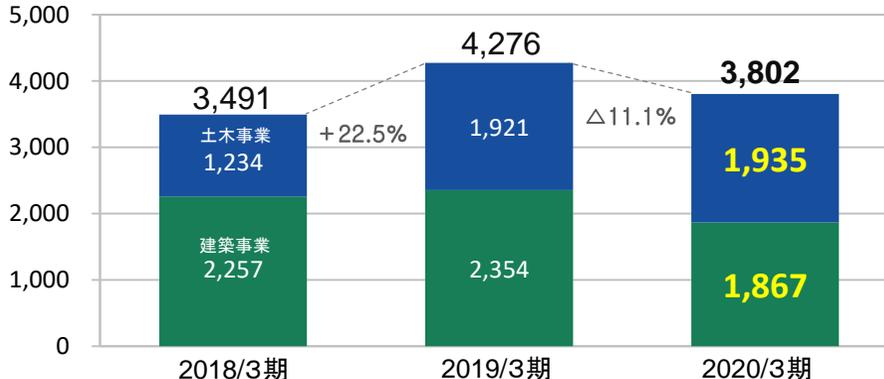
(億円)



(億円)



(億円)



【連結】経営成績



	2019年3月期	2020年3月期			
	実績	修正予想 (2020年2月12日)	実績	前期比 差異	修正予想比 差異
売上高	3,599	3,820	3,781	+5.0%	△1.0%
売上総利益	457	462	472	+3.1%	+2.2%
(売上総利益率)	(12.7%)	(12.1%)	(12.5%)	(△0.2P)	(+0.4P)
販売費及び一般管理費	220	225	225	+1.9%	+0.1%
営業利益	236	237	246	+4.3%	+4.2%
(営業利益率)	(6.6%)	(6.2%)	(6.5%)	(△0.0P)	(+0.3P)
経常利益	224	232	239	+6.6%	+3.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	88	156	168	+89.6%	+7.7%

・当期純利益は、前期の火災に伴う特別損失計上の反動増

(単位：億円、単位未満切捨)



【連結】貸借対照表

	前期末 2019年3月31日 ①	当期末 2020年3月31日 ②	増減 ②－①
流動資産	2,861	2,775	△85
固定資産	635	621	△13
資産合計	3,496	3,397	△98
流動負債	1,919	1,793	△125
固定負債	240	234	△5
負債合計	2,159	2,028	△131
純資産	1,336	1,369	+32
負債純資産合計	3,496	3,397	△98
有利子負債(億円)	292	271	△21
D/Eレシオ※(倍)	0.22	0.20	△0.02
自己資本比率(%)	38.0	40.0	+2.1P

- ・現金預金減少(△173)
- ・受取手形・完成工事未収入金等増加(+189)
- ・未成工事支出金減少(△28)
- ・その他流動資産減少(△50)
- ・投資有価証券減少(△37)

- ・支払手形・工事未払金等増加(+63)
- ・短期借入金減少(△17)
- ・未払法人税等増加(+23)
- ・未成工事受入減少(△151)
- ・工事損失引当金減少(△7)
- ・火災損害等損失引当金減少(△10)
- ・預り金減少(△31)

- ・利益剰余金増加(+107)
- ・自己株式の増加(△50)
- ・その他有価証券評価差額金減少(△26)

(単位：億円、単位未満切捨)

※ D/Eレシオ：有利子負債／自己資本(純資産－新株予約権－非支配株主持分)



II. 2020年3月期決算の詳細

【個別】完成工事高・完成工事総利益



	2019年3月期		2020年3月期		
	実績	修正予想 (2020年2月12日)	実績	前期比 差異	修正予想比 差異
完成工事高	327,649	350,000	351,527	+7.3%	+0.4%
土木工事	118,790	122,000	124,314	+4.6%	+1.9%
建築工事	208,858	228,000	227,213	+8.8%	Δ0.3%
完成工事総利益	42,363	42,500	43,174	+1.9%	+1.6%
(完成工事総利益率)	(12.9%)	(12.1%)	(12.3%)	(Δ0.6P)	(+0.1P)
土木工事	24,083	21,500	21,960	Δ8.8%	+2.1%
	(20.3%)	(17.6%)	(17.7%)	(Δ2.6P)	(+0.0P)
建築工事	18,279	21,000	21,214	+16.1%	+1.0%
	(8.8%)	(9.2%)	(9.3%)	(+0.6P)	(+0.1P)

- ・完成工事高は、土木・建築とも国内大型工事の進捗により増収
- ・完成工事総利益は、完成工事高の増加等により増益

(単位：百万円、単位未満切捨)

【個別】受注高



	2019年3月期		2020年3月期		
	実績	修正予想 (2020年2月12日)	実績	前期比 差異	修正予想比 差異
受注高	427,651	380,000	380,281	△11.1%	+0.1%
土木工事	192,178	180,000	193,575	+0.7%	+7.5%
国内	178,460	161,500	175,727	△1.5%	+8.8%
海外	13,717	18,500	17,847	+30.1%	△3.5%
建築工事	235,473	200,000	186,706	△20.7%	△6.6%
国内	217,995	186,000	172,293	△21.0%	△7.4%
海外	17,478	14,000	14,412	△17.5%	+2.9%

・土木工事の受注高は、大型工事受注により合併(FY2013)以降の最高額

(単位：百万円、単位未満切捨)

・建築工事の受注高は、官公庁と民間工事が前期から減少

※種類別受注高は、「FACT BOOK 2020」をご参照下さい。

【個別】繰越高



	前期末 2019年3月31日	当期末 2020年3月31日	前期増減	前期比差異
繰越高	518,232	546,698	+28,466	+5.5%
土木工事	294,914	364,119	+69,205	+23.5%
国内	278,355	339,512	+61,157	+22.0%
海外	16,558	24,607	+8,048	+48.6%
建築工事	223,318	182,578	△40,739	△18.2%
国内	210,046	171,489	△38,556	△18.4%
海外	13,271	11,089	△2,182	△16.4%

・繰越高は、土木受注高の増加により合併(FY2013)以降の最高額

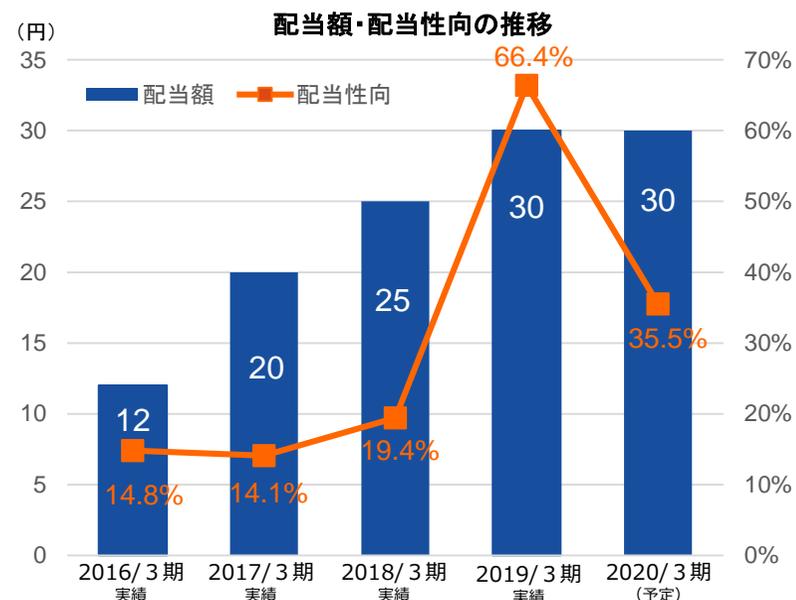
(単位：百万円、単位未満切捨)



配当および自己株式取得の状況

1. 年間配当金

	中間配当	期末配当	合計
2019年3月期 (実績)	15 円	15 円	30 円
2020年3月期 (予定)	15 円 (実績)	15 円	30 円



2. 自己株式取得 (2020年2月12日取締役会決議)

・取得期間 2020年2月13日～2020年3月24日
(2020年6月30日まで予定したが上限額に到達)

・取得した株数 6,716,600株

・取得価額の総額 4,999,966,200円

2020年3月期 総還元性向 64.9%

(中計目標 総還元性向30%以上)



III. 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応 および2021年3月期業績予想の未公表について

新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応



当社は、社長を本部長とする新型コロナウイルス感染症本社対策本部を設置し、感染拡大防止に努めてまいりました。4月7日の政府の「緊急事態宣言」の発令以降も、防止対策のさらなる徹底を図り、関係者の皆様および従業員とその家族の安全を最優先に考え、事業継続を図っております。

今後、政府・地方自治体・関係団体等の通達・ガイドラインを遵守し、引き続き感染拡大防止への取り組みを進めてまいります。

全社	<ul style="list-style-type: none">・社長によるトップメッセージ発信・政府通達等に則した社内への情報展開、感染時対応フロー等の明確化・4月24日～5月6日は、原則作業所および本社・支店を閉所する方針を展開
現場	<ul style="list-style-type: none">・感染症拡大防止に向けて、工事中断を発注者と協議・続行の場合も、現場入場者の検温、手洗い、マスク着用、3密回避等の徹底・現場でも交代勤務、短時間勤務等の出勤調整を実施・作業員へマスク配付
内勤	<ul style="list-style-type: none">・在宅テレワークを基本とし、出社の場合も交代勤務や時差通勤等の出勤調整を実施・つくば技術研究所をサテライトオフィスに活用。積算部門(約30名)が業務継続・新入社員研修はオンライン(eラーニング)で実施。入社式に代わり、社長メッセージを動画配信

新型コロナウイルス感染症拡大による影響(2020年5月13日時点)



受注	<ul style="list-style-type: none">・事業環境の先行きが不透明な中で受注予測が困難・企業業績悪化による国内外の民間建設投資の見直し(延期含む)の動きを注視<ul style="list-style-type: none">✓ オフィス需要動向に変化の兆し✓ 期中受注・期中完工に直結するリニューアル工事への影響を精査
施工	<ul style="list-style-type: none">・緊急事態宣言に伴い、発注者との協議による工事中断が一部発生(国内)・当社進出国にて、ロックダウン等による工事中断が発生
調達	<ul style="list-style-type: none">・中国からの住設機器の調達遅れは回復しつつあるが、PCa工場用の鋼製型枠等、海外調達の一部遅延に伴う生産への影響の懸念・海外工事も国外調達品の遅延や代替品の確保が難航

このような状況を踏まえ、2021年3月期の業績予想および配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なため、未定としています。上記影響の見通しを含めて業績予想等の開示が可能となり次第、速やかに公表いたします。



当社は、2020年2月に、10年後の当社の目指す姿である「安藤ハザマVISION2030」と、その実現に向けたファーストステージとなる「中期経営計画(2021.3期～2023.3期)」(※)を策定し、各種施策への取り組みをスタートしました。事業ポートフォリオの变革により、外部環境の変化に耐えうる強い収益基盤を構築することで、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

建設業界における経営環境は、ここまで堅調に推移してまいりましたが、足元では感染症拡大の影響により国内外経済の先行き不透明感が強まっております。不確実な時代だからこそ、中長期をしっかりと見据え、変化へ柔軟に対応しつつ、さらなる成長に向けた取り組みを着実に展開することが、安藤ハザマの新たな価値を創造していくために不可欠であると考えております。

また、安全と品質にこだわり続け、社会から信頼され、社会と共に成長するグループを目指して全社一丸となって社業に邁進してまいりますので、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※2020年2月12日付リリース『「安藤ハザマVISION2030」および「中期経営計画(2021.3期～2023.3期)」の策定に関するお知らせ』をご参照下さい。



安藤ハザマ

本資料はIRのためのスライド集であり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料は株式会社 安藤・間の事業および業界動向についての株式会社 安藤・間による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性を含んでおります。